

銚 土 第 9 9 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

銚子市長 岡野俊昭



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件
につきましては、別紙のとおり回答します。

今後道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県銚子市

○地域間格差是正に対応した道路整備

- ・銚子連絡道の早期完成
 - ・地場産業が活かせる道路網の整備（農水産物等）
 - ・広域的な道路網の整備（医療連携）
- など地方が自立していくために必要な道路を整備していくための、事業評価基準の要望

○首都圏を救えるまち「銚子」

地盤が強固、食料自給率248%を活かし、将来発生が予想される首都圏の地震災害時に、物資の供給を行うことができるような道路を整備するため、従来の指標とは違った視点からの便益が算定される、事業の評価基準を改善されるよう要望いたします。

たとえば、地元産業に付加する便益

- ①地元産業にかかせない道路に対して、新たな便益を付与する
- ②災害時の緊急輸送路を評価する新たな便益

○道路構造物（橋、歩道等）老朽化に対する財源確保

橋りょう数	120基
歩道延長	40km

上記2項目の機能を確保するためには、老朽化した道路構造物、維持修繕に必要な財源の確保が極めて重要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー１地域の現状と抱える課題

千葉県銚子市

○現状 本市は、関東の最東端に位置し、三方を太平洋と利根川に囲まれ温暖な気候に恵まれた地域である。しかし半島性という地理的条件のため、広域的に共有できざる交通基盤の整備を優先課題としている。 幹線国道は海側の１２６号と利根川沿いの３５６号で、ほかに利根川を跨いで茨城県に通ずる１２４号の３路線があります。 この主要幹線は、従来から幅員の狭小や住宅地域を通ることなどの影響もあり慢性的な渋滞を生じており、この解消策として、１２６号の八木拡幅整備や３５６号バイパスⅡ期工事の早期完成が望まれます。 また、地震等の安全面から、老朽化した銚子大橋の架け替え整備を進めております。	○課題 本市の農水産物は首都圏の台所としての生鮮食料供給基地の役割を担っています。また市民のいのちを守る広域的な医療ネットワークの形成など、高度医療施設へのアクセスの向上をさせる道路整備が急務である。（半島性からの脱却） 人口減少が続くなか、観光など本市の地域資源を活用した地域振興には、交流人口の拡大を図るための成田空港などの道路ネットワークの整備が課題となっております。 ・銚子連絡道の整備促進 ・国道１２６号八木拡幅工事の整備促進 ・国道３５６号のバイパスⅡ期区間の早期完成 ・銚子大橋の架け替え工事の早期完成 ・道整備交付金を活用した地域再生基盤の強化 ・広域営農団地農道の市道の一体的な整備の早期完成
--	---

今後の道路行政についての意見・提案

②ー２地域の目指すべき将来像

千葉県銚子市

本市では、首都圏（約１００キロ）の大消費地に近接する地理的条件を活かし、露地野菜のキャベツや大根の生産量は国の指定産地にも位置づけられ首都圏における生鮮野菜供給基地としての重要な役割を担っている。また水産業は、全国有数の水揚げ量を誇る銚子漁港が良好な漁場環境によって支えられ、大規模な流通・加工機能を兼ね添えた総合漁業基地の位置づけにより、首都圏との交流拠点の産業立地となっている。

このため、県都１時間構想の実現のため、銚子連絡道の横芝光町インターから本市までの早期完成を働きかけていくとともに、現在整備を進めています１２６号の八木広幅や３５６号Ⅱ期バイパス工事の早期完成を促進し、半島性からの脱却を図ってまいります。

また、銚子半島の強固な地盤の特殊性を活かし、首都圏の大規模地震等の災害時における食料の防災拠点の形成を推進し、緊急輸送路である幹線道路の整備促進を図ることにより、既存施設の銚子漁港（船舶による輸送）や銚子マリーナ後背地（ヘリコプターによる輸送）を活用した陸・海・空の連携した緊急輸送路の確保が可能となり、首都圏の防災機能の向上に重要な位置を占めると考えられる。

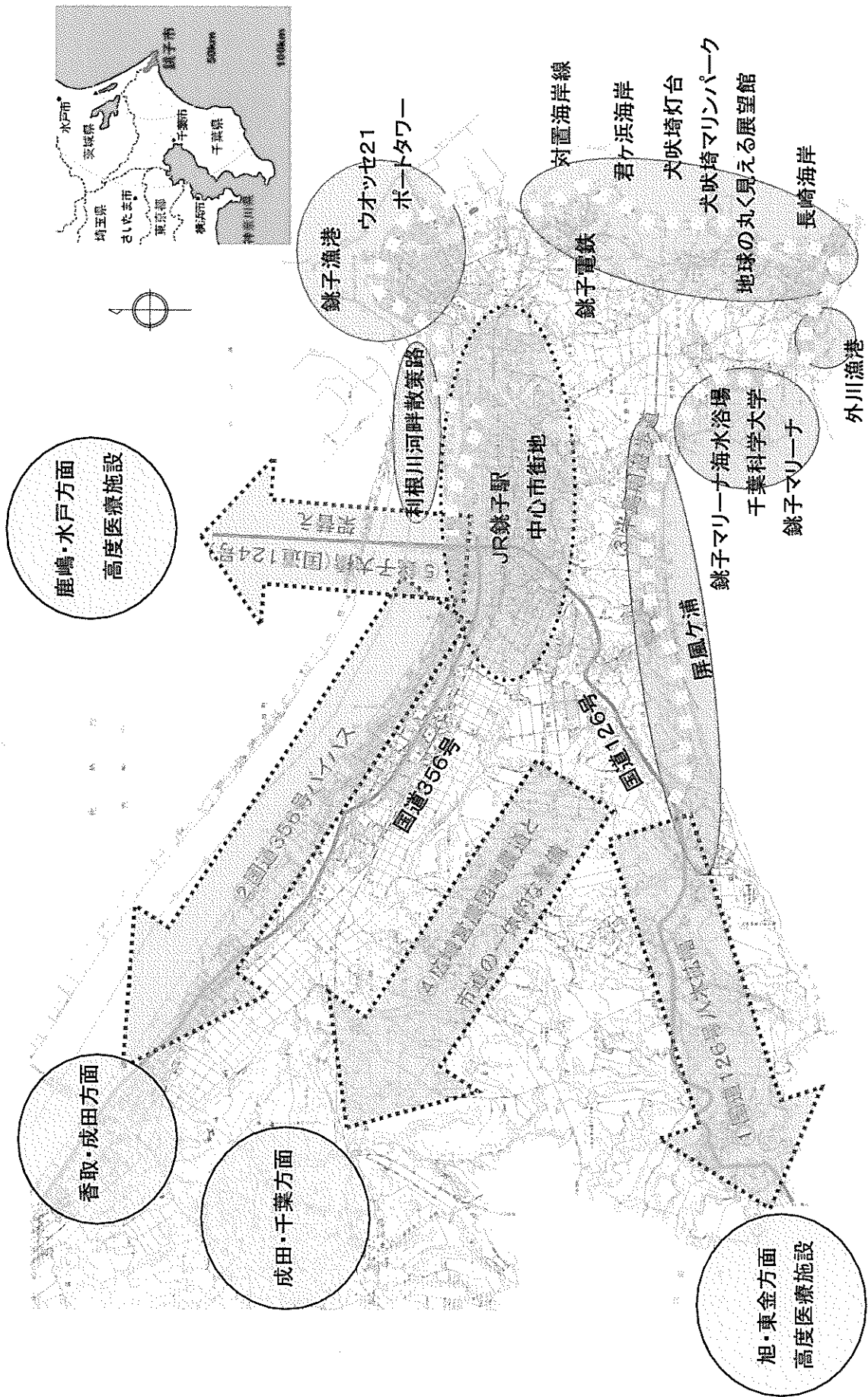
今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等

千葉県銚子市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上 （半島性からの脱却）	銚子連絡道の整備促進 国道356号Ⅱ期区間バイパス整備工事 国道126号八木拡幅工事 銚子大橋の架け替え工事の早期完成	・時間短縮（県都1時間構想） ・産業振興 ・広域医療連携 ・交流人口拡大 ・慢性渋滞の解消 ・利便性向上 ・交通アクセスの確保 ・地方の自立性向上	○その他 大型小売店イオンオー プン予定
大規模な地震、火災に強い国土づくり 〔首都圏を救えるまち「銚子」〕	銚子連絡道の整備促進 国道356号Ⅱ期区間バイパス整備工事 国道126号八木拡幅工事 銚子大橋の架け替え工事の早期完成	・時間短縮（県都1時間構想） ・広域医療連携 ・交通アクセスの確保 ・首都圏の防災機能の向上 ・大規模地震における首都機能のバックアップ機能	地盤が固く地震に強い 利点を活かし、緊急輸 送路の確保

広域的な交通基盤の整備による半島性からの脱却



地域特性を活かした防災拠点と陸・海・空の連携した緊急輸送路

